

矢作川流域の概要

国土交通省 中部地方整備局

豊橋河川事務所

矢作川流域の概要

流域面積	1830km ²
幹川流路延長	117km



空から見た矢作川流域



明治用水頭首工と橋の首狭窄部



豊田市街地周辺



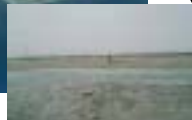
上村川と水源の山々



乙川合流点下流



矢作川河口部



干潮時に現れる干潟



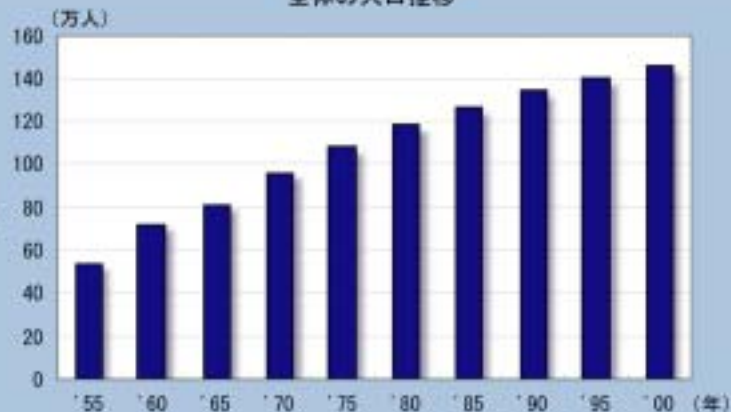
矢作ダムと奥矢作湖周辺



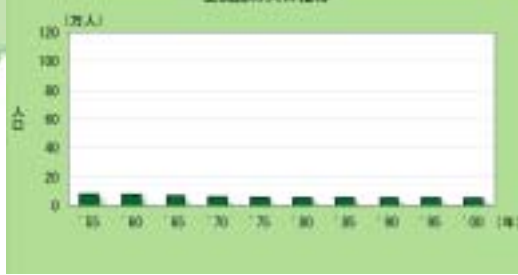
越戸ダム周辺

人口の推移

全体の人口推移



上流部の人口推移



中流部の人口推移

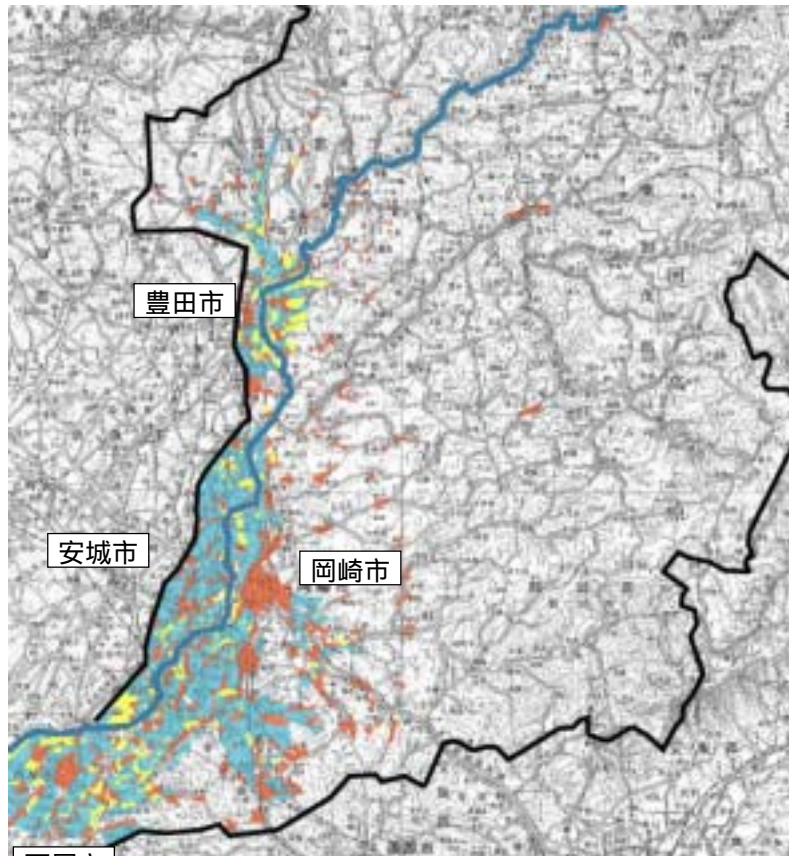


下流部の人口推移



土地利用の変化

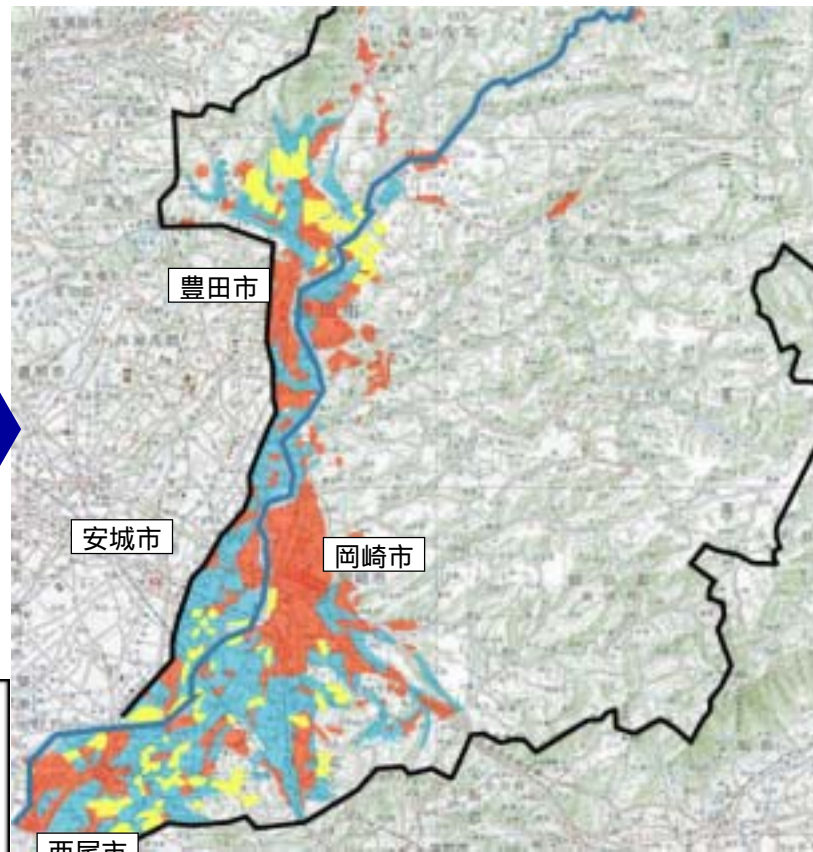
昭和40年頃



国土地理院 1:50000地形図より

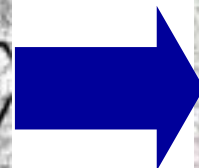
市街地面積 4400ha
流域面積 183000ha (1830km²)
市街地率 2.4%

平成9年頃



国土地理院 1:50000地形図より

市街地面積 10700ha
流域面積 183000ha (1830km²)
市街地率 5.8%



矢作川における災害と治水事業の取り組み

1933	昭和 8年	直轄河川に指定。内務省名古屋土木出張所矢作川改修事務所設置。
1949	昭和24年	国による本格的な改修工事が始まる。
1959	昭和34年	伊勢湾台風により甚大被害。伊勢湾等高潮対事業に着手。
1961	昭和36年	集中豪雨により被災。
1963	昭和38年	伊勢湾等高潮対事業により高潮堤完成。
1965	昭和40年	矢作ダム建設工事に着手。台風25号による洪水。
1966	昭和41年	一級水系に指定され工事実施基本計画策定
1969	昭和44年	台風7号による洪水。
1971	昭和46年	矢作ダム完成。台風23号、25号、26号及び秋雨前線による洪水。
1972	昭和47年	集中豪雨により西加茂郡小原村、藤岡村を中心として大きな災害。
1974	昭和49年	工事実施基本計画改訂。
1986	昭和61年	矢作川緊急河床低下対策策定。施工開始。
1990	平成 2年	下流部(志貴野・藤井)狭窄部対策着手。
1993	平成 5年	上矢作ダム実施計画調査着手。
2000	平成12年	H12 東海豪雨により被災。
2000	平成12年	矢作川河口堰建設事業が中止決定。
2003	平成15年	矢作川の河川整備計画の策定に向けて流域委員会で審議開始。

東海(恵南)豪雨の概要(矢作ダム)

矢作ダムは、計画を上回る洪水に対し、洪水調節を実施。
また、ダムにより流木・土砂の下流への流下を阻止。



矢作ダム湖上流の沢ぬけ(旭町牛地)



洪水調節中の矢作ダム



矢作ダム湖を覆う流木(串原村大野)

東海豪雨の概要 (矢作ダム下流)

矢作ダム下流の愛知県管理区間の河川沿いでは、家屋の浸水や幼稚園の流失等の被害が発生。



豊田市藤沢町



旭町小渡

明治用水頭首工付近の出水状況



豊田御立地区越水箇所

鵜の首狭窄部

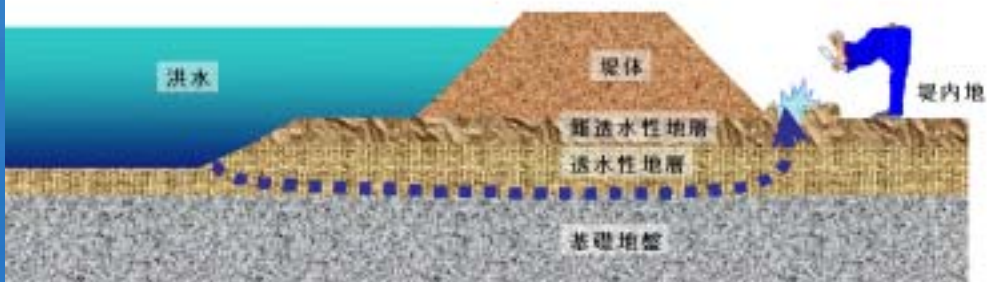
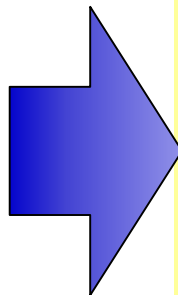
明治用水頭首工

矢作川堤防と漏水状況

矢作川現況堤防



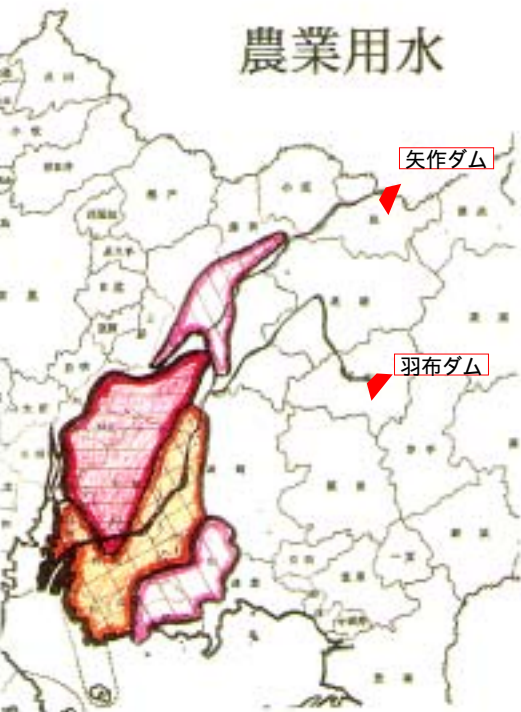
右岸38.8K附近の漏水



水路が浮き上がったため、継ぎ目が広がった。

利水施設と受益地

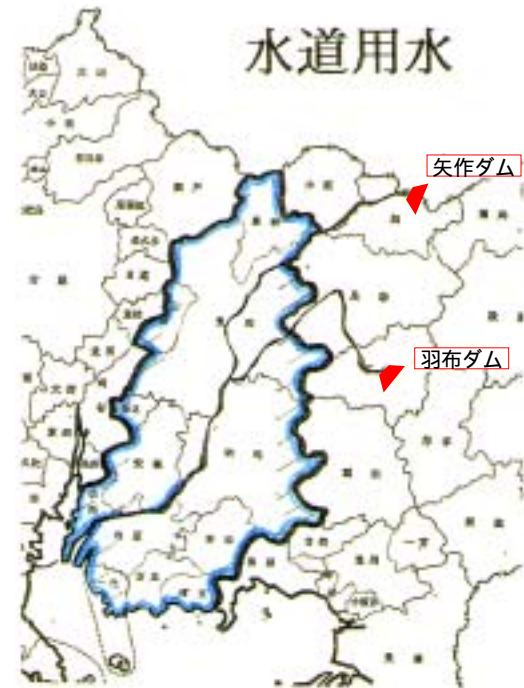
農業用水



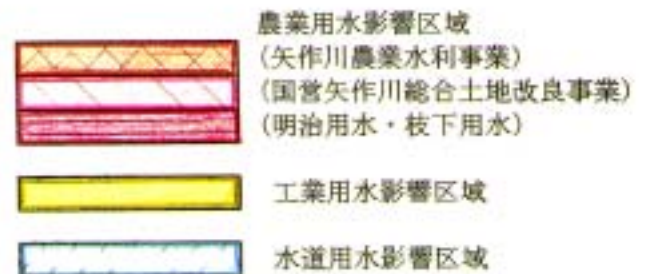
工業用水



水道用水

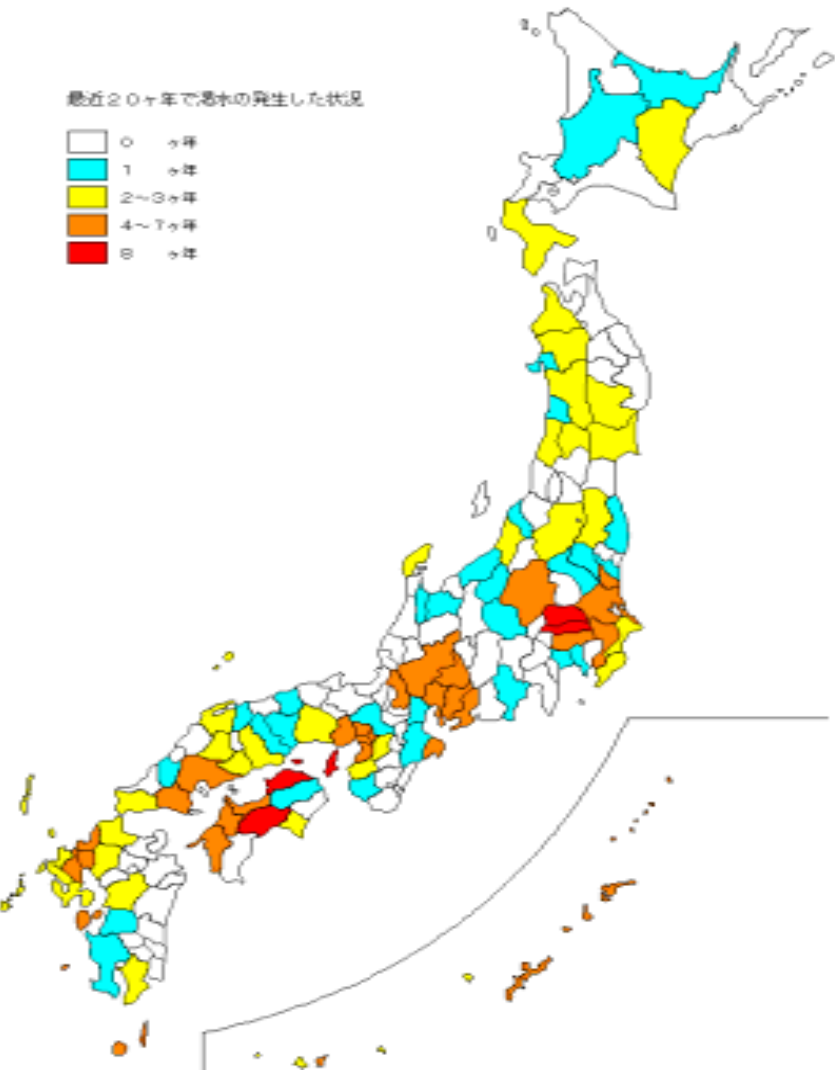


市町村数	給水人口 (千人)	会社・工場数 (社-工)	灌漑面積 (ha)
愛知県			
合計9市8町	1,230	129-147	15,775



矢作川の湧水発生状況

最近20ヶ年で湧水の発生した状況



西三河地域は全国的にみても湧水の発生頻度が多い地域です。

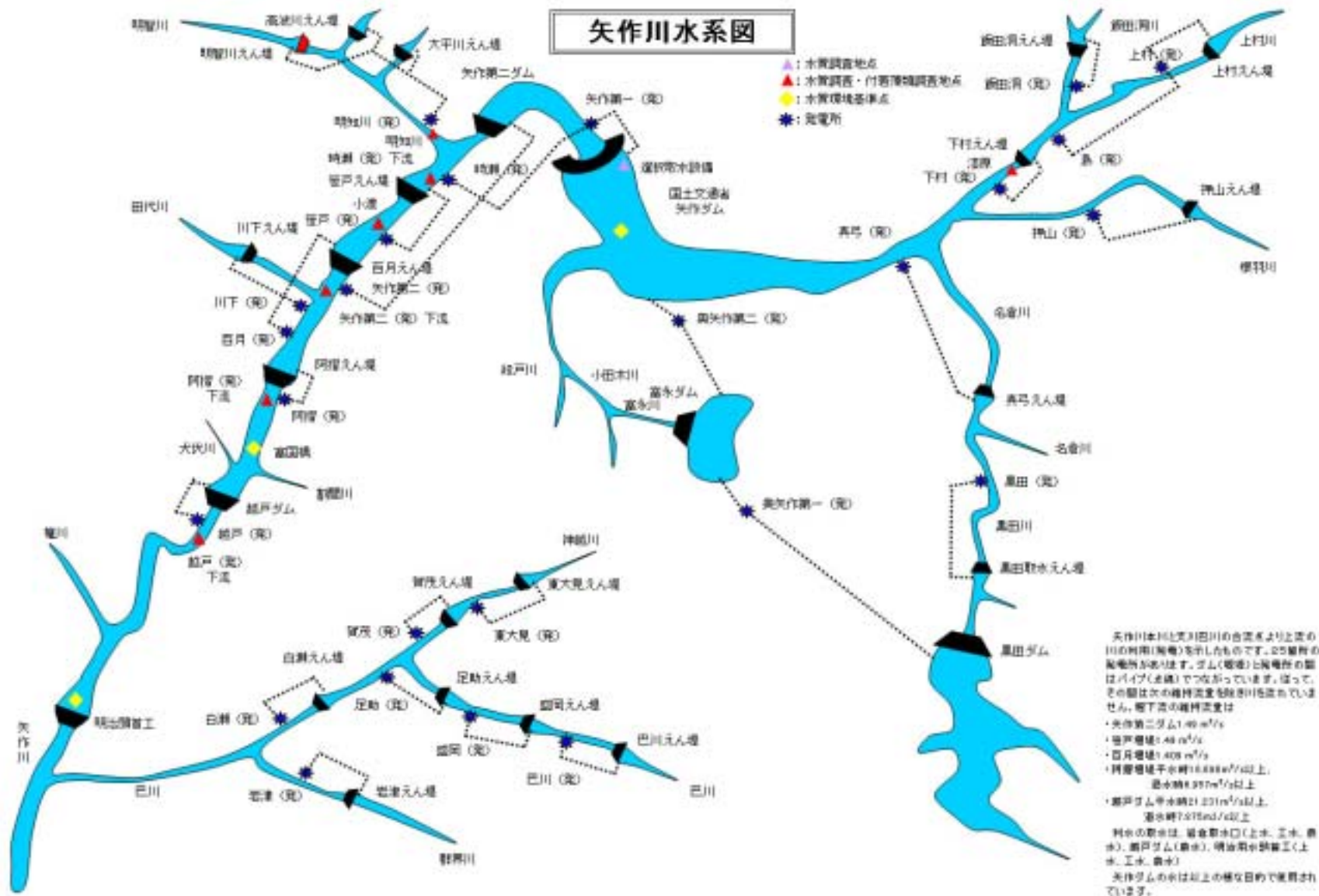
矢作川の過去の湧水事例

年次	取水制限期間		制限日数	最大取水制限率(%)			矢作ダム最低貯水率%	備考
				農水	工水	上水		
S48	6 / 10	~ 8 / 27	79	30	50	10	9.6	
S53	6 / 11	~ 6 / 23	13	50	50	20	18.0	
	9 / 2	~ 9 / 11	10	55	50	25	18.4	
S54	6 / 21	~ 6 / 29	9	30	30	15	20.2	
S56	6 / 17	~ 6 / 26	10	20	20	10	38.8	自主節水
S57	7 / 1	~ 7 / 27	27	55	55	28	17.2	
S59	6 / 6	~ 6 / 26	21	55	50	25	26.0	
S61	3 / 7	~ 3 / 15	9	5	5	5	12.8	自主節水
S62	9 / 4	~ 9 / 17	14	30	30	10	23.8	
H 2	8 / 20	~ 8 / 31	12	30	30	10	47.0	
H 5	6 / 1	~ 6 / 22	22	65	65	30	15.0	
H 6	5 / 30	~ 9 / 19	113	65	65	33	13.8	
H 7	8 / 29	~ 9 / 18	21	30	30	15	32.6	
	5 / 27	~ 6 / 28	33	50	40	20	31.4	
H 8	8 / 15	~ 8 / 16	2	20	30	10	63.6	
	8 / 1	~ 8 / 8	8	20	30	10	68.0	
H12	8 / 1	~ 8 / 8	8	20	30	10	68.0	
	5 / 23	~ 6 / 21	30	20	30	10	37.4	
H13	7 / 19	~ 8 / 22	35	50	50	30	13.8	
	8 / 12	~ 9 / 10	30	50	40	20	33.6	

注)

1. 国土交通省水資源部調べ
2. 昭和57年から平成13年の間で上水道について減断水があった年数を図示したものである。

取水施設等による川の水のバイパス



矢作川流域における環境保全活動等

- 濁水の防止や監視を図る「矢作川沿岸水質保全対策協議会」(通称「矢水協」)を昭和44年9月設立
- 流域内の開発行為に対し、事前に矢水協の同意を得ることを条件とした「矢作川方式」を確立
- 上流と下流の住民の交流を深める「矢作川流域振興交流機構(通称「矢流振」)を平成3年設立
- 水源地域の森林保全等を図る「矢作川水源基金」が昭和53年に設立
- 豊田市立西広瀬小学校による透視度の継続調査

